

環境調査結果のお知らせ

平成27年6月29日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモイとシャットネラ属が認められ、シャットネラは被害が想定される細胞密度を超えていました。

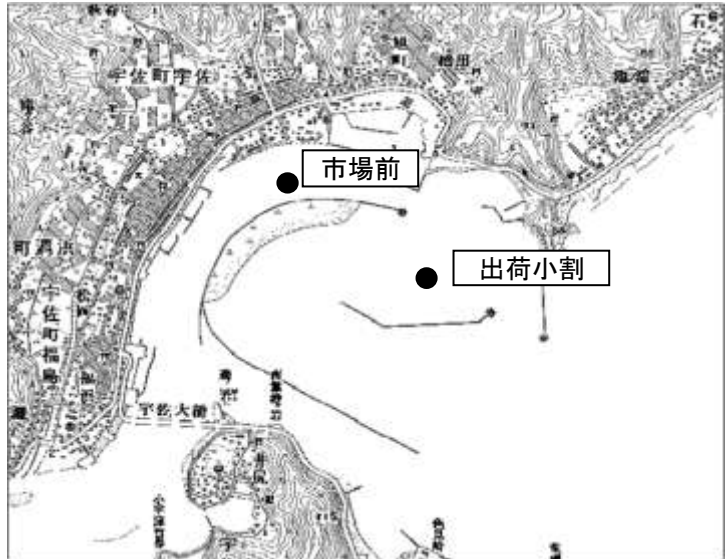
浦ノ内湾内にはカレニア・ミキモイの濃密な水塊がまだ複数存在しており、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも漂着する可能性があります。

慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属
市場前	0m	180	120
	2m	210	100
	5m	180	150
出荷小割	0m	270	30
	2m	280	20
	5m	190	30
(参考) 水試小割前	0m	6	19
	2m	16	390
	5m	1,450	60
大崎 (水試対岸)	0m	12	34
	0m	50	230



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>